

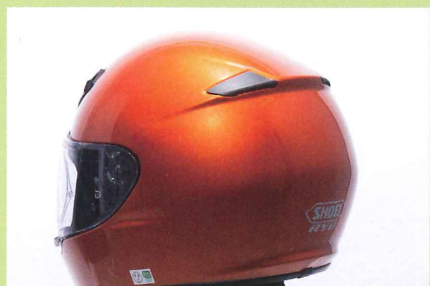
オールマイティなデザインと 快適装備で走りを上質にする

SHOEI

RYD

価格：4万1040円 サイズ：XS～XXL

カラー：タンジェリンオレンジ、ホワイト、マットディープグレー、ブラック、マットブラック、マットブルーメタリック



(左) シェルは軽量ながら高剛性で、前方から見ると球形に近いように見えるが、後ろ側はSHOEIらしいエッジの効いたルクス。エアアウトレットは開放型で後頭部2か所に配置
(右) 内装はイヤーパードまで着脱可能。風の巻き込みを防ぐチンカーテンは標準装備



安全性・快適性・ファッション性の3要素を基軸に、独自の技術とノウハウ、開発力、優れたデザインを用いてハイクオリティなヘルメットを世に送り出しているSHOEI。その最新作で、次世代のスタンダードフルフェイスモデルとしてリリースされたのが「RYD」だ。

まず目を引くのは、ブラックアウトされたベンチレーションシステムと、要所にエッジを効かせつつ流麗に仕上げられたフォルム。絶対的な

コンパクトさに加えて視覚的なコンパクトさまで計算されたデザインは、バイクや走る場所といったライディングシーンを選ばず、个性的かつ上質な雰囲気を持つ。

そして、かぶって走り出せば、機能性の高さにもうならされる。フル脱着可能でフィッティング調整もできる内装は表面が起毛素材で肌触りよく、かつ、しっかりと頭をホールドしてくれる。さらに、眼鏡やインカムの装着性も高い設計で至れり尽く

せりだ。デザイン上のポイントとなっているベンチレーションシステムは開閉操作がしやすく、空気の流れが確実に実感できるもの。シールドは上級モデルの「Z7」と同じ光学設計によって歪みの少ない視界を実現した「CWR1シールド」で、さらに、曇りを防ぐ「ピンロックEVOレンズ」も標準装備。

これほどの品を「スタンダード」とするSHOEIはやはり、まことに

ことなき一流ブランドと言えよう。

ここが強み! スタンダードとしては異例の豪華仕様

斬新かつ洗練されたデザインだけでなく、高価格帯のモデルにも採用される装備の多くを網羅している点に“新世代のスタンダード”としての意気込みが感じられる。

